

新型コロナウイルスの影響で多くのクラブが例会を休止せざるを得ない状況となっています。このような状況下でも様々な工夫や対策を行い例会を再開しているクラブがあります。人材育成委員会にて例会を再開しているクラブについて聞き取り調査を行いポイントをまとめました。感染者数の状況や会場の使用許可の問題など状況が異なりますので、全てをあてはめることはできないと思いますが、例会を再開する際の参考にいただければと思います

S 協人材育成委員会 2021/5

例会再開に際してのクラブ運営の工夫と留意事項(事例)

1 会員への呼びかけ・配慮内容

- 自主的な判断による例会参加を促した
- 体調不調時の出席不可の周知徹底を行った
- 例会前検温、マスク着用、手消毒の義務化をしている
- 各会員への参加呼びかけ方法に配慮している(参加を強制はしない等)
- 感染者が多い地域へ出かけた場合は2週間休む等のルールを設けている

2 会場での対策

- 利用施設の注意事項遵守している
- 密閉空間にならない様こまめな換気を行っている
- 会場入り口の消毒を利用している
- 受付に非接触型体温計を設置している

3 例会運営時の留意事項

- 例会中は常時マスクを着用するようにしている
- (飛沫防止効果が高い)不織布マスクを着用するようにしている
- 咳エチケットの徹底をしている
- スナックの提供は中止している
- 飲料は各自で持参するようにしている(水筒・ペットボトルなど)
- クラブで消毒液を用意している(会場内でこまめに消毒するため)
- フィジカルディスタンス2m、1mの徹底をしている(会場の利用制限の為)
- 出席者の名簿を作成し、事前の体温を記入している(会場の要請もあり)

4 ダンスで工夫していること

- 復習から始めている
- 踊りやすい組み立てを考慮している
- ダンススピードを普段より落としている
- 1チップは10分くらいを限度にしている
- 手をつないでダンスをしているが、各チップ毎に手の消毒と換気を徹底している
- チップ間の休みをできるだけ長く取っている(手消毒や換気のため)
- 密を避けるために一度に踊るセット数を制限している
- ノースイング としている(密着を避けるため)
- ノーハンド、パトンドゥス をしている(会場の使用制限で手を繋げないため)
- いまはRDを控えている(密着を避けるため)
- 今回、カントリーダンスを取り入れた(接触なしで踊ることができる)
- コーラーからの距離を2m以上取っている(近づけないようにイスでバリアード)
- コーラーの前に透明の飛沫防止カーテンを設置している